

授業概要

科目名	嚥下障害Ⅱ					授業の種類	演習	講師名				
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	必修・選択	必須	配当学年 時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 嚥下障害の基礎知識について理解し、それに対する評価法と訓練法を学び、言語聴覚士の役割と課題について理解できる												
【実務者経験】 言語聴覚士として蘇生会総合病院、川南病院に勤務。嚥下障害分野でのリハビリに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 摂食嚥下障害について、多職種の中での言語聴覚士の役割や連携を理解し、嚥下評価法や訓練技術、口腔ケアの方法を修得する												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 摂食嚥下機能の基礎とその障害への対応について理解できる 摂食嚥下障害について、国家試験に即した問題を解くことができる												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	摂食嚥下障害のメカニズムについて											
2	咀嚼、嚥下障害の神経支配について											
3	嚥下の年齢的变化											
4	嚥下障害の発症メカニズム（解剖と生理）											
5	嚥下障害の発症メカニズム（原因と分類）											
6	嚥下障害の合併症											
7	摂食嚥下障害の検査・評価（食事観察、音声・構音検査）											
8	摂食嚥下障害のスクリーニング検査											
9	頸部聴診法											
10	嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査											
11	治療と訓練の適応											
12	間接訓練											
13	直接訓練（摂食訓練）											
14	目標設定、予後予測											
15	家族への指導、多職種との連携											
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学												
【準備学習・時間外学習】 授業の予習、復習を行うこと												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。												